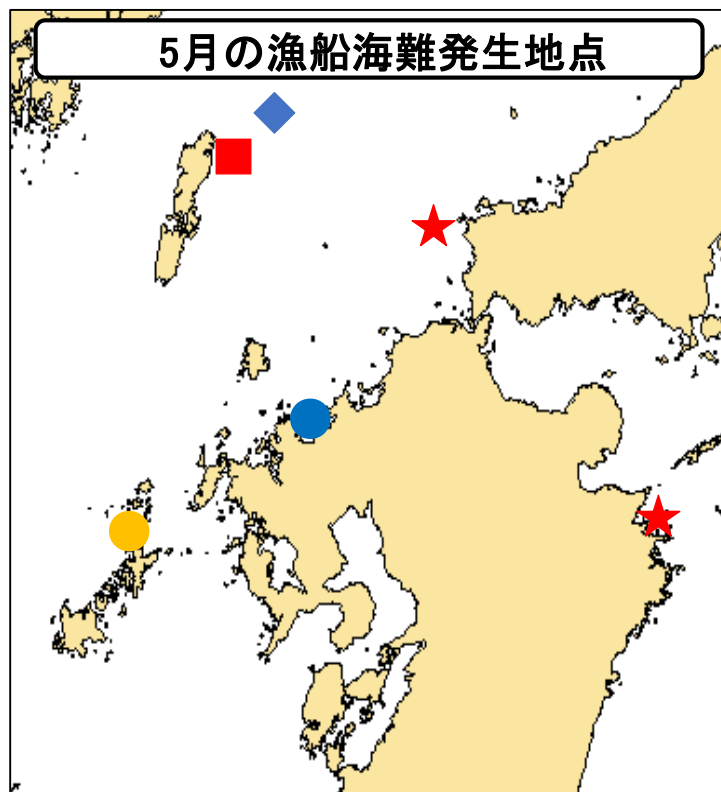


令和2年5月
七管内漁船海難 計6隻

令和2年5月累計32隻(前年45隻)
漁船海難発生累計件数は前年に比べ13隻減少

| 漁船海難隻数 (速報値) | | 県別内訳 | |
|------------------------------------|-----|-------|--------------------------|
| | | 5月 | 令和2年累計 |
| 衝突 | ★ 2 | 山口県 1 | 4 (5) |
| 浸水 | ● 1 | 福岡県 0 | 7 (9) |
| 運航不能 (機関故障) | ■ 1 | 佐賀県 1 | 3 (6) |
| 運航不能 (有人漂流) | ◆ 1 | 長崎県 3 | 12 (18) |
| その他 (船体行方不明) | ● 1 | 大分県 1 | 6 (7) |
| 合計 6 隻 (前年 12 隻) 死亡、行方不明者:1件 | | 合計 6隻 | 32隻 (45隻) ()は昨年同月 |



県別内訳表は、各県に所在する海上保安部署の担当海域にて発生した海難の合計数を示しています。数値は速報値です。

令和2年6月1日現在、累計死亡・行方不明者数:7名



<事件事例(衝突)>

漁船A丸は、**自動操舵**で漁場へ向かっていたところ、**見張りをしなかった**ため、前方で漂流しているプレジャーボートB号に気付かず衝突しました。

一方、B号は漂流して釣りを行っていました。一方、**継続的な見張りを行わず**、衝突直前までA丸の接近に気付いていませんでした。

注目・自動操舵での航行に注意!

- ・自動操舵使用中も前方の**見張り**を厳重にして、**安全航行**を心がけましょう。
- ・漂流または錨泊中でも**見張り**を行い、周囲の船舶の**動静**に注意しましょう。

